

内向的な性格が心配



Aくんは、控えめで繊細な性質を持っている内向型の男の子です。集団の場でも、最初は何もせず遠くから様子をうかがっていて、だれがどんなふうに動いているかを把握できるまで仲間に入ろうとしません。

お母さんはAくんとは反対に、外向型でテキパキとした性質。Aくんの個性を認めつつ、「これからの時代はもつと自分から前へ出て自己主張できるようにならなければ評価されないのでは……」と心配しています。

×こんな接し方は気をつけて！

本人が望んでいないのに、集団のなかで遊ばせようとする

○こんな接し方をしてみたら？

本人が見ているものや、やっていることに興味を持って言葉をかける

人にはそれぞれ個性があつて、内向的な人もいれば、外向的な人もいます。どちらがいいという問題ではない、と頭ではわかっているつもりでも、ことわが子の性格が内向的だと、将来を心配されるお母さんが多いようです。

内向型の子は物事をていねいに観察していたり、じっくり考えることが得意だったりします。内向型の心配をするよりも、そうした内向型のよい面に光を当てていくほうがよいと私は思います。

工作ワークショップのとき、Aくんはハンドルを回すとカプセルが出てくる自動販売機を作りました。作り方を観察していると、私が見せたお手本から基本のところは取り入れながらも、素材や作り方は自らの工夫で独自の作品に仕上げていました。

ところが、肝心のカプセルを入れるところが見つかりません。そこで私は、「箱の上の部分にカプセルを入れる穴を開けたら？」と提案してみました。するとAくんは、別の部分を引き出しのように引っぱって、「こうやって入れるんだよ」と言いました。